

実証成果 (公財)三原村農業公社 (高知県 三原村)

実証参加教育機関 高知県立幡多農業高等学校

実証課題名 ユズの大規模生産におけるスマート農業を活用した労働力不足解消実証

経営概要 34.8ha(ユズ 34.8ha) うち実証面積:ユズ34.8ha



導入技術 ①リモコン式自走草刈機 ②経営・ほ場管理システム(アグリノート)



目標 リモコン式自走草刈機により年間草刈作業時間を31%(126時間/ha→87時間/ha)削減
経営・ほ場管理システムを活用した労務管理の適正化等により年間園地管理作業時間を2%短縮
これらにより経営全体の年間管理作業時間を7%削減

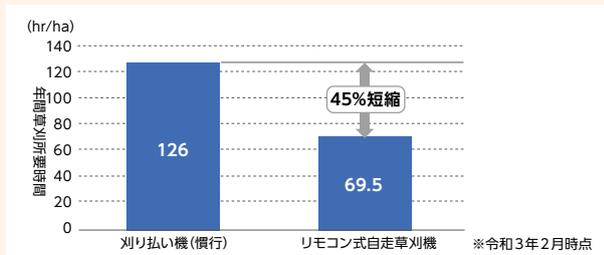
1 実証成果の概要

○リモコン式自走草刈機による年間草刈所要時間の45%(126時間/ha→69.5時間/ha)削減と、経営・ほ場管理システムを活用した労務管理の適正化等で年間園地管理作業時間を1%短縮し、経営全体の作業時間を8%削減し、感染症の拡大に伴う労働力不足を解消。

2 導入技術の効果

リモコン式自走草刈機

●1ha当たりの草刈り作業面積は、慣行の刈り払い機の158%となり導入箇所の草刈作業時間は45%削減



年間園地管理作業時間

●1ha当たりの作業時間を導入前よりリモコン式自走草刈機により45%(57時間)、園地・ほ場管理システムにより53%(9時間)削減し、年間園地管理作業時間を8%削減

項目	作業時間(時間/ha)			
	導入前(①)	導入後(②)	差(②-①)	削減率
リモコン式自走草刈機	126.0	69.5	▲57	45%
経営・ほ場管理ソフト	17.3	8.2	▲9	53%
合計	143.3	77.7	▲66	-
年間園地管理作業時間	816	750	▲66	8%

経営・ほ場管理ソフトの年間園地管理作業時間に対する削減率		
年間園地管理作業時間(時間)	経営・ほ場管理ソフト(時間)	削減率
816	9	1%

3 人材育成の効果(参加した学生の声)

- 農業高校の生徒28名に対し、リモコン式自走草刈機の実習やスマート農業に関する講習会などを実施。
- 実習を通じ、参加した生徒からは、利用効果や更なる作業効率向上策についての提案が出された。



4 今後の課題・展望

- 労働時間の削減については、リモコン式自走草刈機の活用場面や作業体系の改良をすすめ、更なる作業時間の短縮を目指す。
- 経営・ほ場管理システムを活用した作業進捗状況の「見える化」を進め、労務管理の効率化や移動経路の短縮化による作業時間の削減を図り、コスト低減に繋げる。

問い合わせ先 三原村役場農林業建設課 (e-mail:nouken@vill.mihara.lg.jp)